

● 鉄鋼事業部門 ○ アルミ・銅事業部門 ● 機械事業部門 ● コベルコクレーン

2011 (平成23年)

10月

鉄鋼事業部門

日産自動車株式会社で新型自動車用冷延ハイテンが採用

当社の開発した「TBF型1180MPa級自動車用冷延ハイテン」が、日産自動車株式会社の新車種ボディ骨格部品に採用されました。近年、自動車メーカーにとって車体軽量化による燃費向上は急務である一方で、日本、欧米では衝突安全規制の強化に対応した車体の強度向上が求められています。ハイテンは、強度を高めれば高めるほど加工するのが困難でしたが、この「TBF型1180MPa級自動車用冷延ハイテン」は高い強度を保ったまま、加工しやすいという特徴を持っており、今回2013年発売予定の新車種への採用が決定いたしました。1180MPa級ハイテンが自動車ボディ骨格部品に採用されたのは世界初となります。当社は今後も自動車メーカーの更なる軽量化、安全性強化へ貢献してまいります。



神鋼汽車鋁部件(蘇州)有限公司



アルミ製バンパーシステム

12月

アルミ・銅事業部門

中国のアルミ鍛造部品の製造拠点で能力増強を決定

中国における自動車メーカー各社の生産台数が急速に拡大しており、車体軽量化ニーズに対応するため、アルミサスペンションの需要が伸張しています。「神鋼汽車鋁部件(蘇州)有限公司」では、現在2012年8月の量産開始に向け、建設工事を進めていますが、更なる受注量の増加が見込まれるため、今回、設備を追加導入することで一貫生産体制を構築し、生産の効率化を図ります。追加設備は2013年3月から稼働開始の予定です。



開所式の様子

2012 (平成24年)

1月

アルミ・銅事業部門

アルミ製バンパーシステムがトヨタ自動車株式会社レクサスGSに採用

当社のアルミ製自動車部材「電磁成形ステイ貫通型バンパーシステム」が、トヨタ自動車株式会社の「レクサスGS」に採用されました。

一般的なバンパーシステムは鉄とアルミを組み合わせていましたが、それらをアルミで作ることで軽量化し、一体成型することによりコストダウンにも成功しました。

また、この開発に対し、トヨタのグローバル仕入先総会にてこれらが評価され、技術開発賞を受賞いたしました。



マイクロバイナリー設置イメージ

2月

コベルコクレーン

インドの新クローラクレーン工場が本格稼働開始

3月

機械事業部門

国内初の小型温泉発電システム(バイナリー発電システム)が湯布院の温泉旅館で採用